

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: アイジベータ
会社名	: 共立製薬株式会社
住所	: 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-11-5
担当部門	: 品質保証部
電話番号	: 03-3264-7196
FAX 番号	: 03-3264-0733
メールアドレス	: hinshitsu@kyoritsuseiyaku.com

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	: 区分外
-------	-------

自然発火性固体	: 区分外
---------	-------

自己発熱性化学品	: 区分外
----------	-------

健康に対する有害性

急性毒性	: 区分外
------	-------

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
--------------	----------

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: 分類できない
------------------	----------

呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 分類できない
---------------	----------

生殖細胞変異原性	: 区分外
----------	-------

発がん性	: 区分 1A
------	---------

生殖毒性	: 分類できない
------	----------

特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 分類できない
----------------	----------

特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 区分外
----------------	-------

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	: 分類できない
-----------	----------

水生環境慢性有害性	: 分類できない
-----------	----------

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 危険
-------	------

危険有害性情報	: 発がんのおそれ
---------	-----------

注意書き

【安全対策】

: 使用の際には、本製品に記載の注意書き及び安全データシートを確認すること。
--

: 粉じんを吸入しないこと。

: 取扱い後は、よく手を洗うこと。

: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。

【応急措置】	: 気分が悪い場合及び暴露又は暴露の懸念がある場合は、医師の診断／手当てを受けること。
【保管】	: 高温多湿の場所、直射日光を避け、室温に保管する。
【廃棄】	: 都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量
フラクトオリゴ糖	1～5%
鶏卵粉末	18～25%
ブドウ糖	60～70%
カオリン	1.0%
乳酸菌	0.2%
枯草菌	2.0×10^6 CFU/g
アミノ酢酸	4.0%

労働安全衛生法施行令で定める表示・通知義務対象物質

成分名	CAS 番号	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号
結晶質シリカ	14808-60-7	1-548	—

※カオリン中に 50%以下含有する

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要に応じて医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに石けんで洗い落とし、多量の水で洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受ける。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄する。必要に応じて医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 燃焼により有害ガスを発生する恐れがあるので注意する。 消火活動は風上から行う。 周辺火災の場合、周辺の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。
適切な消火剤	: 水、泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	: 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 回収、中和	: 飛散したものは、掃き集めて空容器に回収する。漏洩した場所は、多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項 技術的対策	: 皮膚に付いたり、粉じんを吸入しないように適切な保護具を着用する。
注意事項	: みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
保管上の注意事項 保管条件	: 高温多湿の場所、直射日光を避け、室温に保管する。 開封後は速やかに使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
管理濃度	: データなし

許容濃度	: データなし
保護具	
呼吸器の保護具	: 保護マスクを着用する。必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。必要に応じて耐溶剤性手袋を着用する。
眼の保護具	: 保護眼鏡を着用する。必要に応じてゴーグル型または保護面等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 黄色の粉末
----	---------

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱いでは安定である。
危険有害反応性の可能性	: 特になし
避けるべき条件	: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	: 配合成分の個別の毒性データは区分外であることから、混合物としても区分外とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データ不足のため分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	: データ不足のため分類できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データ不足のため分類できないとした。
生殖細胞変異原性	
結晶質シリカ	: 区分2の情報があるが、混合物の配合量から区分外とした。
発がん性	
結晶質シリカ	: 多くの疫学研究結果において、本物質（石英）を含む結晶質シリカへの職業ばく露と肺がんリスクの増加との間に正の相関が認められており、特に複数の研究結果をプールし異なるメタ解析を行っても、相対リスクは一貫して有意な増加を示した（IARC 100C (2012)、SIDS (2013)）。すなわち、本物質の形状を有する結晶質シリカ粉じんの吸入ばく露によりヒトで肺がんの発症リスクが増加するのは十分な証拠があるとしている（IARC 100C (2012)）。一方、実験動物では雌雄ラットに本物質（空気力学的中央粒子径（MMAD）: 1.3 μm ）を 1 mg/m ³ で 2年間吸入ばく露した試験、また雌ラットに本物質（MMAD: 2.24 μm ）を 12 mg/m ³ で 83週間鼻部ばく露した試験において、ばく露群では肺腫瘍の有意な増加がみられ、組織型としては腺がんが多かった。

	さらに、雌ラットに本物質 (MMAD: 1.8 μ m) を 6.1、30.6 mg/m ³ で鼻部ばく露した試験でも、用量依存的に肺腫瘍の増加がみられ、組織型では扁平上皮がんが最多で、細気管支/肺胞上皮がん、又は腺腫も多くみられた (IARC 100c (2012))。以上、ヒト及び実験動物での発がん性情報より、IARC は本物質粉じんばく露によるヒト発がん性に対し、1997年に「グループ 1」に分類し、2012年の再評価でも分類結果を変更していない (IARC 68 (1997)、IARC 100C (2012))。他の国際機関による発がん性分類結果としては、日本産業衛生学会が「第1群」に (産衛学会勧告 (2015))、ACGIH が 2004年以降「A2」に (ACGIH (7th, 2006))、NTP が結晶質シリカ (吸入性粒子径) に対して、「K」に分類している (NTP RoC (13th, 2014))。よって、本項は区分 1A とした。
生殖毒性	: データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器毒性、反復ばく露 結晶質シリカ	: 区分 1 の情報があるが、混合物の配合量から区分外とした。
12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	: データ不足のため分類できないとした。
水生環境慢性有害性	: データ不足のため分類できないとした。
13. 廃棄上の注意	
廃棄する場合には、都道府県又は市町村条例等に従い処分すること。	
14. 輸送上の注意	
容器が破損しないように充分注意するとともに、破損や漏出がない事を確認する。	
15. 適用法令	
飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律	: オリゴ糖混合飼料 A 飼料
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 結晶質シリカ 別表第 9 の 165 の 2 ($\geq 0.1\%$) 本製品カオリン中に含有する。
消防法	: 非該当
化学物質排出把握管理法	: 非該当

16. その他の情報

引用文献

- ・ 製造業者による情報
 - ・ (独) 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果 ID : H27-B-071/C-108B_P
 - ・ 安全衛生情報、GHS モデル MSDS 情報
-